

編集後記

学生時代に半導体結晶成長の分野から研究をはじめ、半導体表面反応の研究をするうちに、アモルファスシリコンなど有用な膜が低温で形成できるプラズマに興味を持ちました。博士修了後二十数年、プラズマは全くわからないところから多くの先生方に教えてもらいながら、プラズマを用いた薄膜成長・表面処理の研究を行っています。半導体・固体物理や超高真空からプラズマ科学へとバックグラウンドが変わり戸惑うことも多かったのはもちろんですが、プラズマ応用分野のプラズマでさえ、その多様さ・制御の難しさに今でも考えさせられます。

本会の九州支部学術講演会には発表の連名者が本会会員であったため参加させていただいていました。その際には、様々なプラズマ研究の発表に触れ、大型のプラズマ制御・計測の研究の面白さ・難しさを知り、プラズマ照射された材料の状態の解析の研究では固体物理の研究との共通性を感じました。また、様々なところで、プラズマに関する研究状況のお話を聞かせていただくたびに、プラズマの研究の面白さ・難しさを感じるとともに、自

分の勉強不足を感じています。

プラズマがわかった、だからこうすればよいプロセスができるということに達していませんが、気が付けばあと十年で定年かというところにも近づいてしまいました。今までの経験を使ってなにか良い仕事の一つでもできないかと思いつつも、授業や会議が終わった後でも気持ちを入れ替えて実験に取り組む体力と気合が重要なと思います。さらに、現在所属する大学では、就職状況のよい中で大学院に進学してくれる学生が極端に減っていますので、プラズマをはじめ研究の魅力をどのように伝えればよいのかも課題になっています。

数年前に現在の所属に異動したことから本会に入会しましたところ、一年半前から編集委員になりました。編集委員として、委員会に提出する本会誌の企画案についてはあれやこれやと一年以上考えておりますが、いよいよ提出する時期も近くなってきました。プラズマ応用の分野で少しでも魅力ある企画を出したいと思っています。

(篠原正典)

プラズマ・核融合学会 役員

会 長	花田磨砂也		
副 会 長	大野哲靖	坂本瑞樹 (推薦委員長: 学会賞・男女共同参画委員長)	
常務理事	榊原 悟 (総務委員長)		
理 事	渥美寿雄	居田克巳	稲垣 滋 (企画委員長)
	大原 渡	兒玉了祐 (広報委員長)	古閑一憲 (支部・地区研究連絡委員長)
	坂本克也	仙波智行 (財務委員長)	高木浩一
	田中康規	鳥養祐二	村上 泉 (編集委員長)
	吉田麻衣子		山田弘司 (推薦委員長: 研究助成)
監 事	前田達志	波多野雄治	

プラズマ・核融合学会 領域長

基 礎 大原 渡 (山口大) 応 用 田中康規 (金沢大) 核融合プラズマ 居田克巳 (核融合研) 核融合炉工学 渥美寿雄 (近畿大)

プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディタ: 村上 泉 (核融合研) 副委員長: 鳥養祐二 (茨城大)
エディタ: 三瓶明希夫 (京都工繊大), 重森啓介 (阪大), 高橋裕己 (核融合研), 石澤明宏 (京大), 大矢恭久 (静岡大)
編集委員: 伊藤 悟 (東北大), 犬伏雄一 (JASRI), 太田雅人 (核融合研), 小田靖久 (摂南大), 梶田 信 (東大), 葛山 浩 (鳥取大), 河内裕一 (名大), 熊谷谷紀 (QST), 篠原正典 (福岡大), 白戸高志 (名大), 鈴木陽香 (名大), 瀬戸春樹 (QST), 曾根宏隆 (豊田自動織機), 高橋一匡 (長岡技科大), 武村勇輝 (核融合研), 中村友祐 (名大), 成田絵美 (京大), 難波慎一 (広島大), 沼波政倫 (核融合研), 信太祐二 (北大), 浜地志憲 (核融合研), 廣田 真 (東北大), 松岡清吉 (QST), 文 贊鎬 (九大), 本島 巖 (核融合研), 柳生義人 (九大), 山崎広太郎 (広島大)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

プラズマ・核融合学会誌第101巻第11号

編集・発行
〒464-0075 名古屋市千種区内山3丁目1-1 4階 印刷 株式会社荒川印刷
一般社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会 2025年 (令和7年) 11月25日
Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485
E-mail: plasma@jspf.or.jp URL: <https://www.jspf.or.jp/> 定価1,430円 (本体1,300円)

本誌に掲載された寄稿等の著作権は一般社団法人プラズマ・核融合学会が所有しています。